

プライバシー保護について

株式会社とやまヒューマンサービス

「個人情報の保護」については、個人情報保護法の対応により概ねカバーされるが、当社の職員は相談受付・介護支援・介護サービス等それぞれの職務遂行にあたっては、ご利用者の「プライバシーの保護」に最善の配慮を払う。

○「個人のプライバシー権」とは

- ・自己情報をコントロールする権利
- ・不可侵的私的領域を主張する権利
- ・不可侵的私的領域を一部開放する場合の範囲及び対象を自己決定かつ制御する権利

○「プライバシーの保護」とは

- ・個人の情報の保護
- ・個人の尊厳の保護
- ・個人の羞恥心の保護
- ・個人の秘密の保護

○例示すると

- ・各々の職員が職務を遂行する際は、ご利用者に対し自らの好奇心や興味を動機とした態度・言動は厳に慎む。
- ・必要な時以外は、ご利用者について職員間の話題にしない。
- ・ご利用者への接遇は丁寧語を用い、謙虚な態度で臨む。
- ・ご利用者へは、指導的・批判的・否定的な言動や人格を損なう言動を避け、誇りを傷つけないようにする。
- ・相談業務やアセスメントの際は、ご利用者の生活歴・財産・人間関係等について、興味本位と受け止められないよう配慮する。
- ・ご利用者との面談の際は、隔離された場所で個人が姿や会話の内容が第三者に漏洩しないようする。
- ・ご利用者宅に訪問する際は、入室・家具備品の使用・屋内のスケッチ等については必ず声掛けをし、許可を得てから行う。
- ・排泄介助等に際しては利用者の尊厳を損なわないよう、ついたて・カーテン・消臭剤等を利用し、不必要な動作・言葉を避け、手早く行う。
- ・更衣・清拭・入浴介助等に際してはご利用者への視線に注意し、羞恥心を喚起しないようにする。
- ・通院外出介助等の際には第三者の興味本位・無責任な言動に注意し、ご利用者を保護し、第三者との不必要な会話は避ける。